

戸塚第二地区社会福祉協議会

会長 西村邦夫

すばらしい小学生の社会貢献

当地区の民生委員・児童委員の方々は去る10月1～2日戸塚駅前他で、赤い羽根共同募金の街頭募金活動に参加しました。

今年は、70人を超す倉田小学校6年の生徒達が参加されたこともあって、昨年よりも多い43万円の募金額が集まりました。

ご苦労さまでした。

純真で、若々しい声が響き渡ると、自然と募金したい気持ちになるのでしょうか。

このように、小さい頃から社会貢献活動に参加されることは、地域の認識や絆を強めるのに大きな力となるでしょう。

更に、自治会や社協の活動に、若い小中高生が参加されると、雰囲気も若返るし、活力も一変します。

社会福祉協議会の活動でもどんどん若い人達の参加を得て、活性化して行きたいものです。



戸塚駅前の共同募金風景

民生委員活動記

石井裕子

私が民生委員を引き継いだ時は、担当するみまもり対象者は18名おられました。この10年で、施設へ入所したり引っ越しや亡くなった方等で、現在、独居の方4名、障害者1名の5名です。

前任者と挨拶に回った時、昔から知っている方が大勢いたので助かりました。研修会や会議も数多く出席しましたが、他の地域の話の聞くと一人が受け持つ対象者が、50人、60人という人もおられます。第二地区では山側の住宅地のみみまもり対象者は30人前後ですが永く住んでいる方も多いので、この地区では困ったことはあまりありません。

ただ、行政は、担当になると知らせてくるのに、引っ越した方を教えてくれない時には困ったこともありました。そのため、町内会の理事をやり、老人会にも入って情報を得ています。皆様も近くに高齢の方がいたら積極的に声をかけて頂き姿が見えないと思ったら民生委員にお知らせください。ご近所さんで見守っていきたいと思います。

皆様だれもが行く道だという事を念頭に置いていただきたいと思います。当地区の民生委員の私達は6名で和気あいあいと活動しております。本来、主任児童委員と活動を共にするのですが、2名欠員になっています。いろいろ地域の情報も入るので、ぜひ一緒に活動しませんか。お待ちしております。

(民生委員として10年の永年勤続表彰を受けられた石井氏に感想をご寄稿頂きました)

☆地区社協訪問が開催されました

戸塚区社会福祉協議会と第二地区社協との意見交換を1月22日に実施いたしました。

協議内容は、区社協からの情報提供、第2期とつかハートプランの計画の振り返り、地域で抱えている生活課題・問題点、その他です。協議の結果、地域で抱えている生活課題・問題点では、下記のような点があげられ、共有されました。

- 1) 当地域の周辺ではマンション建設が進み、人員構成が変化している
- 2) 新しい住民と従来の住民との絆・コミュニケーションの構築が課題である
- 3) 南戸塚ケアプラザの活用の不便さ

親も子も一緒に育つ「にこにこキッズ」

最近、テレビや新聞で、残虐な青少年犯罪や、小さな子供達に対する虐待のニュースが続いています。これらのニュースを見るにつけ、何でこのような事態に落ち入ったのか、他人事とは言え、本当に残念に思います。

このような事件の発生する原因は色々ありますが、その一つに、残虐な犯罪を起こす青少年や、子供達を虐待する親にしても、犯罪者の小さい頃からの親子の関係が問題だったように思われます。

このような状況に陥らないようにするには、親と子の両者の距離を密接にし、共に育っていく姿勢が必要でしょう。しかし、最近は親子関係が希薄になっているようです。かつて、子育ての心得として、

- ①赤ちゃんの時は「肌」を放さず、
- ②幼児時期になったら「手」を放さず、
- ③少年の時期は「目」を離さず、
- ④成長したら「心」を放さず

と言う話を聞いたことがあります。

「にこにこキッズ」の活動は、親と子が共に集い、親子共々遊び、子育ての悩みを相談したり、情報交換しながら楽しい時間を過ごし、自らも成長することによって、「赤ちゃん時は肌を放さず」、「幼児の時は手を放さず」を実践しようとする活動です。

親自身も、まだ、未熟ですので、子供と共に親も成長しなければなりません。

しかも、子供は親の姿を見て学び成長するので、子は親の鏡と言われます。親の成長にも大切な活動です。



☆戸塚区の「みまもりネット連絡会」の報告

昨年、8月6日に「みまもりネット連絡会」が実施され、身近に発生している活動の実績が下記のように報告されました。

平成25年度に出された相談・通報の件数は29件です。

1. 連絡先の内訳は

協力業者から	13件
民生委員から	4件
民間事業者から	6件
近隣・友人から	6件
2. 対応方法

所在の確認・相談支援	27件
救急搬送	1件
警察による遺体発見	1件
3. 具体的な相談通報例

- ① ポストに新聞がたまっている
- ② 水道の使用量が急増している
- ③ ゴミが出されておらず心配

今後、高齢化が進み、対応しなければならぬ事例が増えていくことが想定され、地域のみまもり活動の必要性が一層高まるでしょう。



唐梅（大船フラワーセンター）

今後の活動予定

NO	活動内容	日程	場所	備考
1	ふれあいサロン	4月14日（第5回）	矢沢町内会館	
2	にこにこキッズ	4月1日 10:00～	矢沢町内会館	
3	アンケートの実施	3月末締め切り		3月中に各班長や役員にご提出下さい。
4	春のバスハイク	4月19日(日)予定		詳細は検討中です。

お問い合わせ 事務局： 実方 871-5990